

学科 学年	M3・E3 ・D3	科目 分類	歴 史 History	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 (A)	担当	鈴木 静恵 SUZUKI Shizue
概 要	<p>2年次の古代史学習を受けて、以下のように順次現代までの世界史を概観する。</p> <p>① 古代末から近世初頭にいたる世界史の概要を学ぶ。</p> <p>② 大航海時代に始まる近代市民社会の形成過程を学び、特に産業革命に端を発する欧米資本主義諸国の進出によって全世界がその動きに組み込まれ、世界の一体化が進められたことを学ぶ。</p> <p>③ それによって、戦争も平和も人類全体に関わるものとなり、現代世界の様々な問題が生み出されてきたことを学ぶ。</p>							
科目目標 (到達目標)	近代市民社会の形成と発展の歴史の学びを通して、歴史を動かす市民の力を理解し、21世紀の世界に生きる一人の市民としての自覚を育てる。							
教科書 器材等	高校世界史〔B〕 山川出版社 浜島書店：新詳世界史図説							
評価の基準と 方法	定期試験の成績約70%、平常授業での積極的な学習姿勢（レポート提出等を含む）約30%として評価。60点以上を合格とする。							
関連科目	地理							
授業計画								
第1回	ガイダンス 近代以前の世界（1）							
第2回	近代以前の世界（2）							
第3回	大航海時代の開始							
第4回	ルネッサンスと宗教改革							
第5回	絶対主義の時代							
第6回	市民革命（イギリスとアメリカ）							
第7回	フランス革命とナポレオン							
第8回	前期中間試験							
第9回	産業革命と資本主義の成立							
第10回	自由主義の進展							
第11回	国民主義の時代							
第12回	西力東漸下のアジア							
第13回	明治維新と岩倉使節団							
第14回	帝国主義の時代							
第15回	前期期末試験							
第16回	第一次世界大戦							
第17回	ロシア革命とソ連の発展							
第18回	ヴェルサイユ体制と世界恐慌							
第19回	ファシズムの拡大							
第20回	日本の東アジア侵略							
第21回	第二次世界大戦							
第22回	ヤルタ体制と冷戦の開始							
第23回	後期中間試験							
第24回	冷戦下の世界							
第25回	中華人民共和国の歩み							
第26回	アジア・アフリカー自立へのたたかい							
第27回	冷戦の終結と市民の力							
第28回	20世紀の負の遺産―核の脅威と環境破壊							
第29回	21世紀の課題―グローバル化と民族問題							
第30回	学年末試験							
オフィス アワー	質問等には授業日の放課後等に対応できる。							
授業アンケート への対応	今日の世界情勢に関連する質疑応答を積極的に取り入れて、歴史を通して現代を理解することの意義を伝える。							
備 考	適宜ビデオ教材等を利用							